

# 令和3年度 事業計画書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

一般社団法人 舞鶴市水産協会

## 令和3年度 事業計画書

### (1) 基本方針

令和2年度は、コロナ禍により、高級魚を中心とした水産物の消費が落ち込み、また、「まいづる魚まつり」など市内における主なイベントが軒並み中止となるなどこれまで経験したことの無い厳しい一年となりました。

こうした状況の中で、本協会は、当協会の会員や京都府、舞鶴市、海の京都DMOなど関係団体と連携・協力し、本市に京都府産水産物の約8割が集荷される舞鶴地方卸売市場が立地しているという強みを活かし、「とれる！買える！食べられる！魚の街まいづる」の情報を市内外に強力に発信し、「舞鶴かに」「丹後とり貝」「京鱈」等の「舞鶴のさかな」のブランド化と四季折々の「舞鶴の旬の特鮮さかな」を「舞鶴のさかな提供店」で食べていただける取り組みを進めてまいりました。

また、12月から「舞鶴のさかな」の消費喚起策として、舞鶴市の補助を受けて総額1億円のクーポン券を発行する「まいづる冬グルメキャンペーン」を実施し、「魚の街・舞鶴」のPRと「舞鶴のさかな提供店」の消費拡大に寄与することができました。

令和3年度におきましても「舞鶴のさかな」のブランド化と「魚の街・舞鶴」の更なるPRを図るため、当協会の会員、「舞鶴のさかな提供店」のほか関係団体と連携・協力し、様々な機会をとらえ、積極的に事業を実施してまいります。

### (2) 主な事業計画

#### 1. 公益事業(実施事業会計)

##### ①水産物の消費拡大と食育の推進

###### ア 魚の街まいづるPR事業

「舞鶴のさかな」のブランド力の向上と消費者に購入してもらおう動機づけを行い、魚の街まいづるのイメージアップを図ります。

- ・「舞鶴のさかな提供店」制度をさらに展開し、提供店の料理等「食」の魅力を観光協会との連携によりPRし、新たな誘客と地域消費の拡大を図ります。
- ・「舞鶴のさかな提供店」及び府漁協と連携し、「丹後とり貝」「岩がき」「京鱈」の販売促進を推進します。

- ・「シェフマッチング」のフォローアップとして、首都圏において「舞鶴のさかな」のブランディングを実施します。
- ・「舞鶴のさかなロゴマーク（愛称：うおづるくん）」、「舞鶴の旬の特鮮さかな」、「チョキまる」を活用した「舞鶴のさかな」のPRを継続して実施します。
- ・「まいづる魚まつり」の後援を行います。

#### イ 地産地消の推進に係る事業

- ・市内外の保育園児、小学生、保護者などに対して、舞鶴産水産物の消費拡大や魚食普及を目的として「出前講座」等の取り組みを行います。

#### ウ 情報発信事業

「舞鶴のさかな」や「舞鶴のさかな提供店」など「魚の街まいづる」の情報発信をフェイスブックを始めとするSNSやホームページ等のICT（情報通信技術）の活用や報道機関への情報提供など様々な方法により実施します。

#### エ まいづる冬グルメキャンペーン事業（特別会計・令和2年度繰越事業）

令和2年度に舞鶴市の補助事業として取り組みましたが、令和3年2月に発令された緊急事態措置により、本事業の実施期間を令和3年2月末から同年6月末まで延長しましたので、繰越事業として実施します。

### ②水産流通加工業等の振興に関する調査研究

- ・舞鶴産水産物のブランド戦略に係る調査研究を大学等研究機関と連携して実施します。
- ・漁村・漁港・海岸の環境を保全するため、清掃活動を支援します。

### 2. 収益事業（収益事業会計）

- ・舞鶴水産会館の賃貸業  
舞鶴漁港における水産関係者の福利厚生施設として、舞鶴水産会館の管理運営を行います。